

歴史館では親子体験型イベントを実施しています。

「ミニ掛け軸づくり」

参加者は「掛け軸って自分で作れるの？」と興味津々です。材料は紙とのりとはさみ、そして「書」「絵画」を書くためのペンや色鉛筆などです。皆さんも掛け軸を見たことがあると思いますが、「書」や「絵画」の周りにきれいな布などで飾りがついています。そういった「書」や「絵画」を飾っているものを総称して「表装」といいます。参加者は、その表装も作りました。

ミニ掛け軸ができあがると子どもたちからは「お友達の誕生日が近いからプレゼントにしよう」「自分の部屋に飾ろう」といった声が聞かれました。子どもといっしょに参加したお父さんお母さんからは「子どもより大人の方が夢中になりますね」といった感想がありました。

なお、今回作った「ミニ掛け軸」のセットは歴史館の売店で購入できます。

写真下左 お母さんの掛け軸が気になります

写真下右 親子で作る微笑ましい光景が見られました



歴史館ボランティアが活躍

今回のイベントをはじめさまざまな催しの際に活躍しているのが「歴史館ボランティア」で、スタッフとしてイベント事業などをサポートしています。歴史に興味があり歴史館の事業に理解のある方でしたら、どなたでも参加できるそうです。この日は大学生なども含めて3人のボランティアの方が活躍し、参加者に掛け軸の作り方をアドバイスしていました。

写真下左 歴史館ボランティアの方がアドバイスします

写真下右 親子でそれぞれ作りました



展覧会はもちろん体験型イベントもたくさん開催しています

県立歴史館では、歴史博物館と文書館の機能をあわせもつ施設として、茨城県の歴史に関する資料や公文書を収集・保存して、多くの方々にご利用いただいております。

広い敷地(約 72,000 m²)のなかには、本館のほかに、移築された江戸時代の民家建築や明治時代の洋風校舎などがあります。また樹木や草花にも恵まれ、季節によってさまざまな美しい装いを見せてくれます。

また、展覧会をはじめ、歴史に興味を持つきっかけづくりとして、さまざまな体験型のイベントを開催しています。ぜひご参加ください。

主な体験型イベント

よろい・かぶと体験

十二単衣試着体験

マッチ棒のお雛様づくり

勾玉づくり

紋切り遊び